

JOGMEC 久慈国家石油備蓄基地

施設管理者 : JOGMEC
施設所在地 : 岩手県久慈市
調査見学時期 : 平成 27 年 10 月 8 日 (木)

施設概要

久慈国家石油備蓄基地を訪問し、久慈国家石油備蓄基地事務所の藤原所長と日本地下石油備蓄(株)久慈事務所の柴崎副所長から、東日本大震災から現在に至る基地の復興への取り組みを伺いました。基地として平成 25 年 3 月に復旧工事が完了、翌 26 年 4 月には復興工事（新設した高台設備）が完了、同年 10 月の石油（原油）受払機能も無事確認できたとの事でした。（G E C ニュース第 3 1 4 号より抜粋）

久慈地下石油備蓄基地

施設管理者 : 日本地下石油備蓄株式会社

施設所在地 : 岩手県久慈市

調査見学時期 : 平成 13 年 11 月 8 日

施設概要

菊間（愛媛県）、串木野（鹿児島県）に続いて建設された地下式石油備蓄施設で、正式には日本地下石油備蓄(株)久慈事業所と言います。備蓄容量 167 万キロリットル（国内消費 3 日分相当）、各々の備蓄タンク規模は、幅 18m、高さ 22m、長さ 540m、合計 10 本のタンクで構成されています。総合管理事務所で説明を受け、基地の頭脳である中央計器室の様子を視察しました。モニター画面に水封された原油の状況が写し出されていました。この後、山腹のタンクに続くサービストンネルを 700m ほど歩いてタンク直上の原油受払ポンプ室を案内していただきました。足元のはるか下方で実際に見ることができない静寂な空間にある原油を想像しました。三陸海岸特有の津波に対する危機管理として、過去の潮位より高位に主要施設を設けています。併せて、作業用トンネルを利用した地下水族科学館（もぐらんぴあ）と石油文化ホールも見学しました。大規模な施設群にも関わらず、地下利用は景観を損なわないことが実感できました。（GECニュース第 147 号より抜粋）

久慈地下石油備蓄基地工事

発注者 : 日本地下石油備蓄㈱
施設所在地 : 岩手県久慈市
調査見学時期 : 平成3年7月5日(金)

工事概要

当基地は鹿児島県の串木野基地(175万kl)、愛媛県の菊間基地(150万kl)と並んで、現在日本で進められている地下石油備蓄基地の1つである。幅18m、高さ22m、長さ540mの貯油槽タンクトンネルを10本掘削し、容175万klの石油を備蓄する大規模な地下利用施設である。

全断面をみることができるトンネルで全員バスから降りて、空洞の大きさを実感すると共に、この久慈基地の備蓄量が日本の石油消費量の3日分にしかないことに驚く。

現場ではロックボルトの打設作業をしているのを目の当たりに見ることができた。

地質はほとんど花崗岩で、施工はベンチカット工法、支保はNATM工法(吹付けコンクリートとロックボルト)が採用されている。全トンネルを3年間で掘削する計画で、年の始めには掘削工事を完了する予定である。タンクトンネルの他、水封作業トンネルを見学した後、掘り出されたずりが利用されている埋立て地もバスで廻った。全トンネルを掘削すると約200万m³のずりが出るため、そのずりをすぐ近くの海岸の埋立て、防波堤、魚礁に利用している。海洋の環境保全のため利用されるずりは洗浄処理がされていた。再び事務所に戻り質疑応答を行ったが、その中でこの地下式の備蓄は、地上式・地中式と比べてコストの面で種々の要因(火災・地震等の災害、維持管理に必要なランニングコスト、ずりの再利用)を考慮すると、有利な方式である旨の説明があった。

また見学日の前日(7月4日)、地元のテレビ局がこの基地を取材しており、地元でも大いに注目されているようである。(GECニュース第23号より抜粋)

